#### 2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名		実務経験のある教 員による授業科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
36304	美容の科学 Science of Beauty Treatment	内田	直子	~	専門	2	選択	1.2後期

### 科目の概要

美容における基礎的なからだの構造・機能について学修する。 美容成分について理解し自身のスキンケアの知識を高める。さらに将来美容や健康に関わる仕事等でより成果を上げるため、周囲のひとに対してもアドバイスができるように色々な肌質について学修する。世の中に数多くあるスキンケア商品の中から、それぞれの肌に合ったものやケアの方法を選べるようになり将来にわたり健康的な肌でいられるようにするため、この授業を通し美容に関する専門的知識を修得し、これらを活用できるようにする。 美容の科学は、ディプロマ・ポリシー①②③④に相当する。これらを身に付けるために行う。 ★一人ひとりの肌質に合ったスキンケアのアドバイスができるように美容業界での経験を活かして教授し、トラブルのない健康的な肌質を維持するケアを習得させる。

学修内容	<b>到達</b> 目標
<ul><li>① 皮膚の構造を知る。</li><li>② 美容のために必要な皮膚の機能を知る。</li><li>③ スキンケアにおける基礎的な美容成分の知識を知る。</li><li>④ 健康的な皮膚を保つために必要な栄養を知る。</li><li>⑤ スキンケアの方法を知る。</li></ul>	① 皮膚の構造について説明することができる。 ディプロマ・ポリシー (①②③) ② 美容に必要な皮膚の機能を説明することができる。 ディプロマ・ポリシー (②③) ③ 基礎的な美容成分の効果を説明することができる。 ディプロマ・ポリシー (②③) ④ 皮膚の健康のために必要な栄養を説明することができる。 ディプロマ・ポリシー (①②③) ⑤ 正しいスキンケアの方法を知り実際に行うことができる。 ディプロマ・ポリシー (②③④)

学生に発揮させる社会人基   礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例						
	主体性	授業の時間以外にもスキンケアや美容成分について積極的に興味を持ち知ろうとすること ができる。						
前に踏み出す力	働きかけ力							
	実行力	学んだ美容の知識やスキンケア方法を実践することでトラブルの無い肌を目指していくことができる。						
	課題発見力	自分に必要な(または不要な)美容成分やスキンケア方法は何かを考えることができる。						
考え抜 く力	計画力							
	創造力	自分とは違う様々な肌質の人にもそれぞれに合うスキンケアや美容成分を想定することができる。						
	発信力	学んだことや知り得た知識を目的ごとにまとめ文章や発表において表現することができる。						
	傾聴力	授業内容を理解しポイントをおさえてノート等にまとめることができる。						
チーム	柔軟性							
で働く力	情況把握力							
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。						
	ストレスコントロール力							

### テキスト及び参考文献

テキスト:使用しない。プリントを適宜配布する。

参考文献:なし

### 他科目との関連、資格との関連

資格との関連:美容薬学検定

学修上の助言	受講生とのルール
授業中の説明やポイントとなるところを自分なりにまとめておくと良い。 授業の時間以外にも肌の状態やスキンケア方法について興味を持つようにすること。	室しないこと。

# 【評価方法】

評価 評価方法 対象		評価の 割合	到達目標		į	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
		筆記 (レポー ト含む)・実 技・口頭試験	0	1				
	学			2				
	学期末			3				
	試験			4				
				(5)				
				1	1			授業内に4回の小テストを行う。 各時点までに学修した内容から出題する。
				2	1			小テストの合計点により判定する。
		小テスト	40	3	1			
				4	1			
学修成果				(5)	1			
		レポート	50	1	1			自分の肌に合った美容成分やスキンケアアイテム、必要な栄養など 授業で学修したことを活かし健康的で美しい肌を目指すために(ま
				2	1			たは維持するために) 必要なことをレポートにまとめクラスルーム   
				3	✓			に促出する。 (2007~400子柱及)
				4	1			
	平常評			(5)	1			
	評価	成果発表(プ	0	1				
				2				
		レゼンテー ション・作品		3				
		制作等)		4				
				5				
				1	1			(主体性) 自分の肌に合った美容成分やスキンケア方法を実践することができる。 (実行力)
学修行動			10	2	1			(実行力) 学んだ知識を活かし実践していくことができる。 (課題発見力) 自分に必要なスキンケアを授業内容と結び付けて考えることができる。
		社会人基礎力 (学修態度)		3	✓			(想像力) 自分以外のひとへのスキンケア方法を考えることができる。 (発信力) 自分なりにまとめたことを文章などでわかりやすく発表できる。 (傾聴力)
				4	✓			「授業内窓を理解したがらノートに主とめることができている」
				(5)	1			(現律性) 遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出しフォローレポート課題を行う。
総合評価 割合		100						

## 【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
A (優) 小テストとレポートの合計 79~70点 皮膚の構造、目的に合った美容成分、栄養について説明することができる。 S (秀) 小テストとレポートの合計 90点~80点 上記内容に加え肌の状況に合ったスキンケア方法について説明することができる。	B(良) 小テストとレポートの合計 69~60点 上記内容に加え目的に合った栄養について説明することが

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション。 授業内容や美容に関す る検定試験の種類や内 容の違いについて理解 する。	講義	美容に関する検定試験 の種類や内容について 説明することができ る。	(復習) 美容に関する各検定の 試験日や申込み方法な どを調べる。	180	主実課見創発傾規性力発 力力力力性
2	皮膚の構造と機能を知る。	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の授業を振り返り 要点をフィードバック	皮膚の構造や機能を説 明することができる。	(予習) 皮膚の構造図で名称を 覚えておく。 (復習) 皮膚の構造と機能につ 皮膚でプリントやノート にまとめる。	180	主実課見創発傾規 力力力力性
3	スキンケアアイテム (基礎化粧品)の種類 と目的・役割を理解す る。 効果的な使用の順序を 理解する。	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の授業を振り返り 要点をフィードバック	各スキンケアアイテム の種類や目的、使用の 順序を説明することが できる。	(予習) 自分の使っているスキ ンケアアイテムの種類 を確認する。 (復習) スキンケアアイテムの 種類、役割、使用順や についてプリントの ノートにまとめる。	180	主実課見創発傾規 力力力力性
4	髪の構造と機能を知る。 頭髪のトラブル(枝 毛・切れ毛・抜け毛な ど)とヘアケア方法を 理解する。	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の授業を振り返り 要点をフィードバック	髪の構造や機能を説明 することができる。	(予習) 自分の使っているへア ケアアイテムの種類を 確認する。 (復習) 髪の構造と機能、ヘア ケア方法についてプリ ントや ノートにまとめる。	180	主実課見創発傾規 力力力力性
5	肌トラブルの原因について理解する。 【くま・ニキビ・吹き 出物】	◆2~4回目の授業内容で小テストを行う。 講義パワーポイントとプリントを使用する。 前回の授業を振り返り要点をフィードバック	肌トラブルの原因について説明することができる。	(予習) 自分におきたことがあるした。 をましている。 (復習) (復ま、原因とまという。 (くまののようとのです。 (くまののようとのです。) (くまののようとのです。) (くまののようとのです。)	180	主実課見創発傾規 力力力性
6	肌トラブルの原因について理解する。 【しみ・ソバカス・肝 斑】	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の小テストの内容 について解説を補足してフィードバック。	肌トラブルの原因について説明することができる。	(復習) シミ、ソバカス、肝斑 の原因についてプリン トやノートにまとめ る。	180	主実課見創発傾規 力力力性
7	肌トラブルの原因について理解する。 【シワ・たるみ・くすみ】	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の授業を振り返り 要点をフィードバック。	肌トラブルの原因について説明することができる。	(復習) シワ、たるみ、くすみ の原因についてプリン トやノートにまとめ る。	180	主実課見創発傾規性力発 力力力性
8	女性ホルモン (男性ホルモン) が肌に与える 影響について理解する。	◆5~7回目の授業内容で小テストを行う。 講義パワーポイントとプリントを使用する。 前回の授業を振り返り要点をフィードバック	女性ホルモンの働きについて説明することができる。	(予習) 女性ホルモンについて 調べる。 (復習) 女性ホルモンが肌に与 える影響についてプリ ントやノートにまとめ る。	180	主実課見創発傾規性力発 力力力力性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	日焼け止めの種類(紫 外線吸収剤と紫外線散 乱剤)の違いと効果に ついて理解する。	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の小テストの内容 について解説を補足し てフィードバック。	日焼け止めの種類と目的の違いを説明することができる。	(予習) 自分の使っている日焼 け止めの成分を調べ る。 (復習) 日焼止めの種類や目的 の違いについてプリン トやノートにまとめ る。	180	主実課見創発傾規 力力力力性
10	水の硬度、軟水・硬水 の違いを知る。硬度の 違いが肌や頭髪に与え る影響を理解する。	◆8~9回目の授業内容で小テストを行う。 講義パワーポイントとプリントを使用する。 前回の授業を振り返り要点をフィードバック	軟水・硬水が肌や頭髪 に与える影響を説明す ることができる。	(予習) 売られている水の栄養成 分表示を見てpH、硬度を 調べる。 (復習) 軟水、硬水の違いと水の 成分の違いが肌や髪に与 える影響をプリントや ノートにまとめる。	180	主実課力創発傾規ストレスコントロール
11	肌のゴールデンタイム を知る。 肌と睡眠の関係につい て理解する。	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の小テストの内容 について解説を補足し てフィードバック。	肌と睡眠の関係性について説明することができる。	(予習) 睡眠不足が肌に与える 影響について調べる。 (復習) 肌のゴールデンタイ ム、肌と睡眠について プリントやノートにま とめる。	180	主実課見創発傾規 力力力力性
12	化粧品と医薬部外品の 違いについて知る。 (美白・ニキビ・アン チエイジング成分な ど)	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の授業を振り返り 要点をフィードバック	医薬部外品とは何かを 説明することができ る。	(予習) 自分や家族の使っているスキンケア用品に医薬部外品と表記されているものを調べる。 (復習) 化粧品と医薬部外品の違いをプリントやノートにまとめる。	180	主実課見創発傾規 力力力性
13	スキンケアに関する用語を 理解する。 サプリメント成分に期待で きる効果について理解す る。 分の肌について必要なス キンケア方法や必要な案 成分などについてレポート にまとめクラスルームに提 出する。	講義 (オンデマンド) 前回までの授業を振り 返り要点をフィード バック	それぞれのサプリメン ト成分の効果を説明す ることができる。 授業で指示のあった内 容についてレポートを 提出することができ る。	(予習) 自分の現在の肌において必要(不足している)と感じる栄養素がある場合は調べる。 (復習) それぞれのサプリメント成分の効果についてプリントやノートにまとめる。	180	主実課見創発傾規 常報 力力力性
14	美容成分に期待できる 効果について理解す る。 (保湿・美白)	◆10~12回目の授業内容で小テストを行う。 講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の授業を振り返り要点をフィードバック	それぞれの成分の効果について説明することができる。	(予習) 自分の使っているスキ ンケア用品の成分表示 を確認する。 (復習) 保湿・美白に対する美 容成分についてプリントやノートにまとめ る。	180	主実課見創発傾規 体行題力造信聴律 性力発 力力力力性
15	美容成分に期待できる 効果について理解する。 (くま・ニキビ・シ ワ)	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の小テストの内容 について解説を補足し てフィードバック。	それぞれの成分の効果について説明することができる。	(復習) くま・ニキビ・シワに 対する美容成分につい てプリントやノートに まとめる。	180	主実課見創発傾規 体行題力造信聴律 力力力力性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力